５　キャッシュ・フロー計算書について

本市水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

（単位:千円）

	令和元年度	平成30年度	増減額
1　業務活動によるキャッシュ･フロー			
当年度純利益	688,545	604,015	84,530
減価償却費	1,434,152	1,386,453	47,699
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,923	31,287	△ 14,364
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 771	523	△ 1,294
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,285	2,805	△ 1,520
修繕引当金の増減額(△は減少)	△ 81,092	－	－
長期前受金戻入額	△ 245,221	△ 233,690	△ 11,531
受取利息及び配当金	△ 1,380	△ 1,790	410
支払利息及び企業債取扱諸費	98,328	106,796	△ 8,468
固定資産除却損	20,656	39,885	△ 19,229
固定資産売却損益(△は益)	△ 6,202	△ 1,678	△ 4,524
未収金の増減額(△は増加)	10,101	△ 5,283	15,384
その他流動資産の増減額(△は減少)	2	13	△ 11
未払金の増減額(△は減少)	△ 10,582	△ 36,286	25,704
預り金の増減額(△は減少)	3,869	△ 13,027	16,896
小　計	1,928,613	1,880,023	48,590
利息及び配当金の受領額	1,446	1,948	△ 502
利息の支払額	△ 98,328	△ 106,797	8,469
業務活動によるキャッシュ･フロー	1,831,731	1,775,174	56,557
2　投資活動によるキャッシュ･フロー			
定期預金の払戻収入	700,000	1,300,000	△ 600,000
定期預金の預入支出	0	△ 700,000	700,000
有形固定資産の取得による支出	△ 2,024,911	△ 1,684,117	△ 340,794
有形固定資産の売却による収入	7,300	3,378	3,922
工事負担金等による収入	295,066	214,335	80,731
投資活動によるキャッシュ･フロー	△ 1,022,545	△ 866,404	△ 156,141
3　財務活動によるキャッシュ･フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	750,000	800,000	△ 50,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 777,445	△ 711,804	△ 65,641
財務活動によるキャッシュ･フロー	△ 27,445	88,196	△ 115,641
資金増加額（又は減少額）	781,741	996,966	△ 215,225
資金期首残高	3,826,146	2,829,180	996,966
資金期末残高	4,607,887	3,826,146	781,741

キャッシュ･フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、３つの活動区分におけるキャッシュフロー（ＣＦ）で表される。

本年度は、企業債の償還額が企業債の借入額を上回ったため、財務活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなった。投資活動及び財務活動に支出する資金を、本来の業務活動による資金で調達している。

資金期末残高は、前年度に比べて 7 億 8,174 万 1 千円増加し、46 億 788 万 7 千円となった。資金期首残高と貸借対照表の現金・預金との差額 7 億円は、預金期間が 1 年を超える定期預金の額である。